

# NTT東日本と協定締結

## 南房総 相互連携と協働でDX推進へ



サインを交わした石井市長(左)と境部長＝南房総

南房総市は5日、市NTT東日本と連携協定のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するために、裕市長とNTT東日本

執行役員で千葉事業部の境麻千子部長がサインを交わした。

国が進めるデジタル社会の実現に向け、各自治体で行政サービスの改革が進められている中、同市でも推進方針を策定してデジタル化に取り組んでいる。今回は、密接な相互連携と協働でDXを推進し、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応すること、行政サービスの向上や地域の活力創出、デジタル化による働き方改革の推進を図ろうと、同社と協定を結ぶことになった。

協定の連携事項は、▽DX人材育成に関すること▽庁内業務運営に関すること▽行政サービスに関すること▽防災活動・災害復旧活動に関すること▽地域課題解決に関すること▽その他、DX推進に関すること―の6項目。

具体的には、DX技術を習得・展開できる人材の育成や、業務の見える化による庁内業務の効率化、AI技術を活用した行政サービスの充実検討、AR技術を使った津波浸水体験の防災授業などを挙

げている。

協定式で、石井市長は「協定により、専門的、客観的に業務を見ていただき、これまで以上に改善につなげていければありがたい。それにより市民サービスの向上、地域課題の解決にもつながると思う。NTT東日本さんの知見を生かしていただければありがたい」とあいさつ。

「一方、境部長は「私たちが一緒に取り組んでいくことで、住民サービスのさらなる向上や業務の効率化などを見つけていきたい。協定締結を契機に、地域の皆さんを支える企業として、南房総市の皆さんと共に市民の皆さんの暮らしを守って、少しでもお役に立てるように尽力してまいります」と述べた。